

後打ちCo補修 作業手順

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 割合	リスク評 価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 指示書の内容確認 日常点検の実施 						
カッター工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って後打ちコンクリートを切断する。 	<ul style="list-style-type: none"> センターライン付近の作業は、一般車に注意する。 「はみ出し作業あり」の看板設置 ブレード付近には、手、足を近づけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両と接触し作業員がケガをする。 ブレードにてケガをする。 	5	2	7	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 保安員を付け作業する。
飛散防止ネット設置	<ul style="list-style-type: none"> トラック(クレーン車)から飛散ネットをおろす。 カッター終了後、3~4人でネットを組立て、設置する。 ウエイトは、鋳鉄製枕型分銅20kgを計4個使用し、通行車線反対側の底部に緊結する。 組立て完了後ハツリ箇所を取り込む位置までせり出し設置する。 <p>(ガードレール等が無い区間については、工事用車両やそれに変わる堅固な物に取り付ける。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> その際、荷台からネット、作業員等転倒転落しない様注意する。 クレーンを使用して荷下ろしする際は吊り荷の下に入らず、介錯ロープにて支持する。 介錯ロープは2m以上の長尺物に対しては両端2箇所に設置する。 組立ては、通行車両から離れた箇所にて行う。 ウエイト、養生ロープで設置、固定されるまで2人以上でネットれないように押さえておく。 ガードレール等強固な物がある場合は、ウエイトの代替えとし、養生ロープによりほどけない様に結びつける。 ロープはネット上部に、2点引きで養生する。 	<ul style="list-style-type: none"> 組立て時、車両の風等に巻き込まれ接触する。 吊り荷の下敷きになる。 設置中、一般車両が突っ込み接触する 	4	2	6	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 保安員を付け作業する。 極力安全な場所にて組立てる 吊り荷の下は立入禁止 作業位置に合わせラバコンをせり出す 保安員に旗を振らせ、一般車に注意を促す。
はつり工	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止ネットを設置した後、カッターライン内の補修箇所をプレーカー、ピック等を使用して、はつり取る。 ブロワー等を使用し入念に清掃する。角などは特に注意して清掃する。 深さ検測を行う。 廃材はトラックに積み込み、所定の処分場に運搬し、処理を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に合った保護具を使用する。 橋梁下に落下物が無い様にシート、飛散防止ネットで養生を行う。 マニフェストの提出 	<ul style="list-style-type: none"> ハツリ片が飛び通行車両にキズを付ける Co片が目に入りケガをする。 	4	3	7	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止ネットの設置 保護メガネ・マスクの着用
作業中のネット移動	<ul style="list-style-type: none"> ネットの移動は設置撤去に準ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単独作業はしない。 						
飛散防止ネット撤去	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止ネット撤去の際は、通行車両に影響の無い箇所までネットを2~4人で作業帯に引き込み、その場で倒し養生ロープを外す。 	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止ネット撤去の際は、作業員全員で同時に作業を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 解体時、車両の風等に巻き込まれ一般車に接触する。 	5	2	7	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 保安員を付け作業する。 極力安全な場所にて解体する
コンクリートの打設	<ul style="list-style-type: none"> 脆弱部の鉄筋は排除し新規で配筋を行う。 PDゴムラテボッドを練り混ぜ敷き均す。 また打設後は、素早く金鍍仕上げを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 車輛の移動時には、必ず誘導を行う。 センターライン付近の作業は、一般車に注意する。 材料の取扱いは方法に留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車と接触し作業員がケガをする。 材料が飛散し目に入る 	5	2	7	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 保安員を付け作業する。 保護具を着用して作業する。
養生	<ul style="list-style-type: none"> 規定の時間、養生を行う。 							
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物がないように確認する。 はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。 						

注意事項

- 作業に合った保護具を使用する。
- センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 各作業は、有資格者による作業を行う。
- はつり、清掃時の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 火災防止処置を行う。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する」